

令和7年度キャリア形成・リスクリング推進事業

説明資料

2026/3/16

岩手キャリア形成・リスクリング支援センター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス 13F

キャリア形成・リスキリング推進事業について

キャリア形成・リスキリング推進事業の内容（全国47都道府県に支援センターを設置）

1. キャリア形成・リスキリング推進事業に関する地域レベルの周知 広報及びリスキリングに関する周知キャンペーン

- 1) リーフレット及びポスターの配付
- 2) ジョブ・カード制度等に関する企業・学校等向けセミナーの実施
- 3) ハローワーク利用者に対するジョブ・カードの周知・広報業務**
- 4) リスキリングやキャリアコンサルティングに関する周知キャンペーン

2. 企業・学校等の開拓と個別支援

【企業向け】

積極的に企業を訪問し、当該企業が抱える課題（**従業員の採用・定着、人材育成**（リスキリングを含む）、評価等）やニーズを把握し、企業の経営者・人事担当者、その企業の従業員等に対して、ジョブ・カードセミナーやキャリアコンサルティング、セルフ・キャリアドックの導入支援を実施

- ジョブ・カードを活用した採用活動（応募書類等）、従業員の
人材育成リスキリングを含む）、評価を実施する企業への支援
- ジョブ・カードを活用した雇用型訓練の実施企業の支援
- セルフ・キャリアドック導入支援

【学校向け】

ジョブ・カードを活用した就職指導の課題やニーズに対する支援

- ジョブ・カードを活用して学生に就職指導等を行う学校への支援

3. 個人の労働者向けのキャリア形成、リスキリング支援

・在職労働者、求職者向けジョブ・カードセミナーやキャリアコンサルティング実施

・**全国のハローワーク及びキャリア形成・リスキリング併設の「相談コーナー」へのキャリアコンサルタントの派遣・常駐**（訓練前キャリアコンサルティング、労働者向けキャリアコンサルティング面談の実施、予約受付対応含む）

※全て支援は無料で実施

◆全国 目標◆

	項目	目標値	備考
導入支援	制度の活用を希望する企業等への相談支援	7,300社	7,300社 ・ジョブ・カード制度に関するもの：5,100社 ・セルフ・キャリアドックに関するもの：2,200社 ・うち、従業員のリスキリングを行う企業等への相談支援：3,650社
	制度活用企業数	1,000社	・応募書類、在職労働者の実務経験の評価、在職労働者へのキャリアコンサルティングにジョブ・カードを活用する企業：850社 ・セルフ・キャリアドック導入企業：150社 うち、従業員のリスキリングに制度を活用する企業：500社
活用成果	ジョブ・カード作成支援者数	166,000人	・うち、雇用型訓練に関するもの：3,400人 ・うち、リスキリングに関する支援：123,500人
	労働者に対するキャリアコンサルティング機会の提供（相談人数）	112,500人	・うち、リスキリングに関する支援：98,250人
その他	企業内の人事部門、キャリアコンサルタント等を対象とした研修会の実施	850回	・うちジョブ・カードに関するもの 700回 ・うちセルフ・キャリアドックに関するもの 150回
	ジョブ・カード普及サポーター企業の登録	2,100社	
	ジョブ・カード制度活用好事例のホームページへの掲載	25社	

◆支援センター目標◆

ジョブ・カード作成支援数：2,024件

キャリアコンサルティング実施数：1,570件

キャリアコンサルティング実施数

今期4月～相談者様からご予約いただき、実施しましたキャリアコンサルティングの件数は以下の通りです。

※オンラインは宮城にて実施分(岩手県内の住所の方で集計)

	盛岡 紺屋町	盛岡 菜園	宮古	釜石	大船渡	久慈	一関	水沢	遠野	花巻	北上	二戸	沼宮内	支援 センター	オンライン	計
4月	—	17	2		4		2	3					—		7	35
5月	—	26	6		1		5	4				1	—		10	53
6月	—	12	2		1		2	5	1		1		—	1	8	33
7月	—	14	1	1	1						2		—	2	1	22
8月	—	19	1		2		1		1		5		—	1	3	33
9月	—	12	1				1						—	3	3	20
1月	—	12	2				1	3			1		—	1	3	23
11月	—	13	3			2	2	1					—	7	2	30
12月	—	30	2		3		1	1			1		—	7	9	54
1月	—	20	1		1			3					—	2	8	35
計	—	175	21	1	13	2	15	20	2	0	10	1	0	24	54	338

■ 専門実践教育訓練は、実務者研修（介護職員初任者研修修了者）が最多49名、類似コースや医療などを含める142名、キャリア育成講座26名、web・IT関連が17名

■ 特定一般教育訓練は、介護支援専門員実務研修が最多28名、類似コース含め44名、自動車免許は17名

■ 長期高度人材育成コースは保育士養成科8名、情報に関する養成科6名、介護福祉士養成科と美容師養成科は3名、スポーツトレーナーコースは1名

■ 求職者支援訓練はWebデザイン・プログラミングで2名

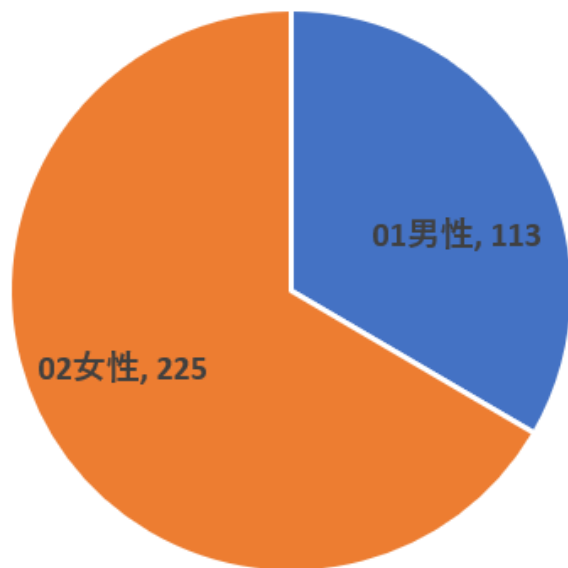
キャリアコンサルティング実施後アンケートまとめ

キャリアコンサルティング実施後アンケート

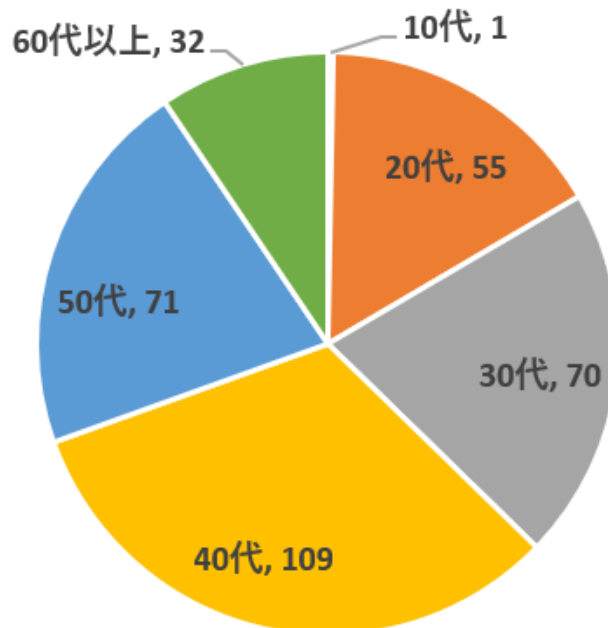
【実施期間】2025/4/1～2026/1/31

【対象者】338名

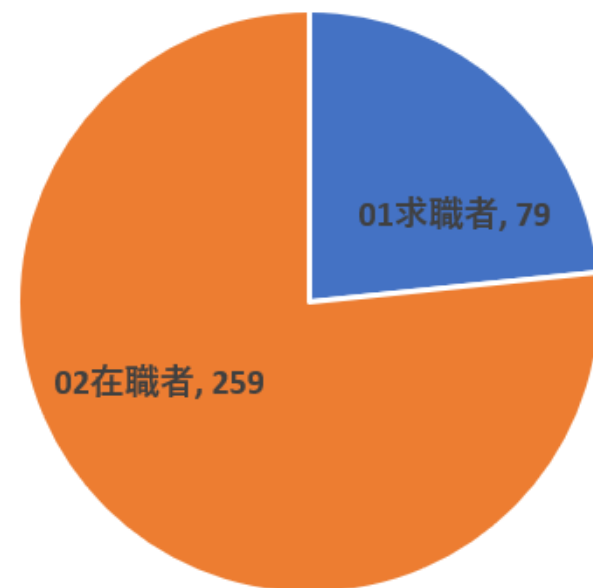
【性別】



【年代】



【就業状況】



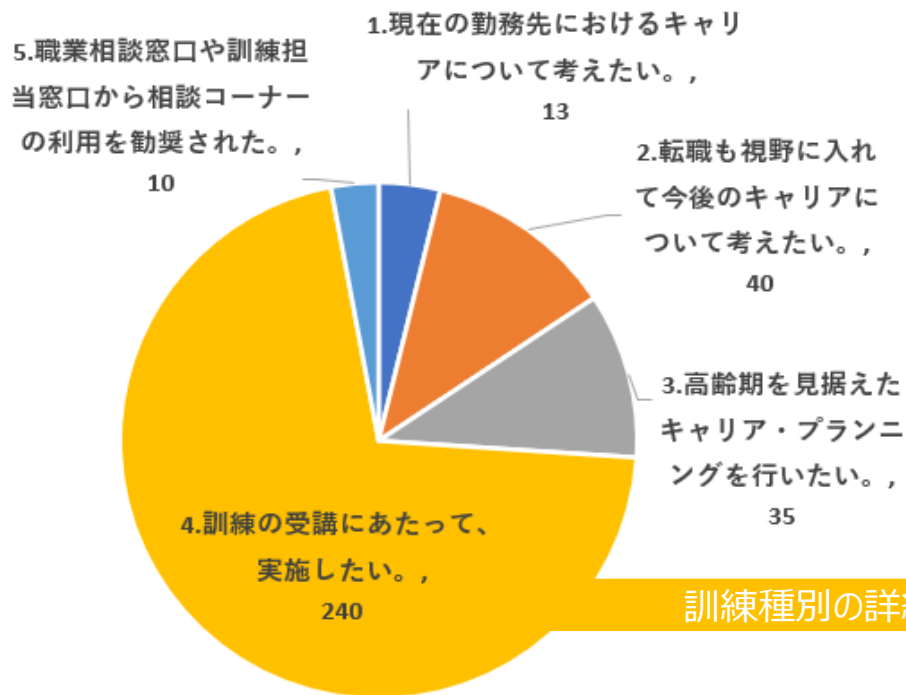
キャリアコンサルティング実施後アンケートまとめ

キャリアコンサルティング実施後アンケート

【実施期間】2025/4/1～2026/1/31

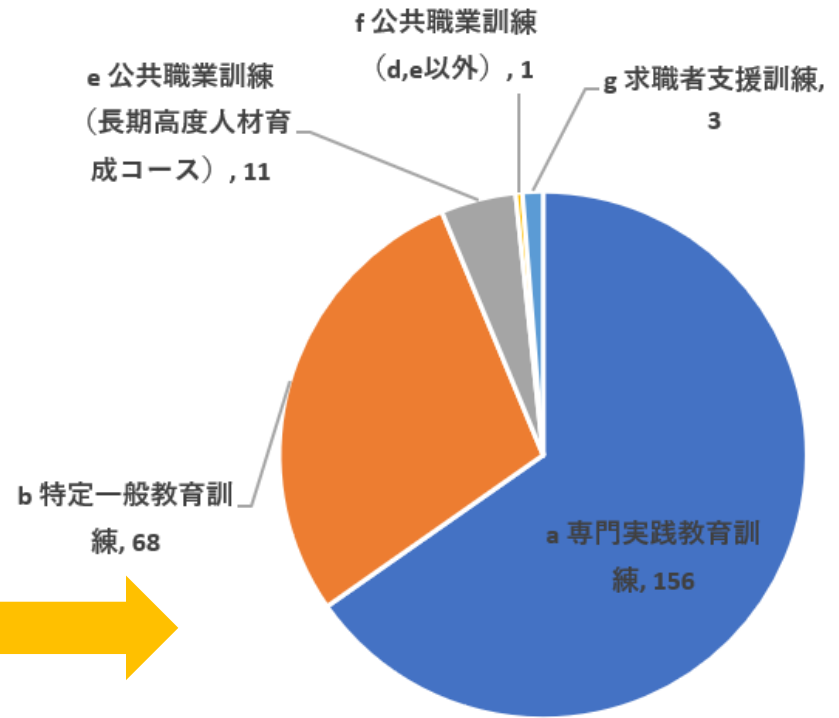
【対象者】338名

【キャリアコンサルティング実施目的】



訓練種別の詳細

【訓練種別 内訳】



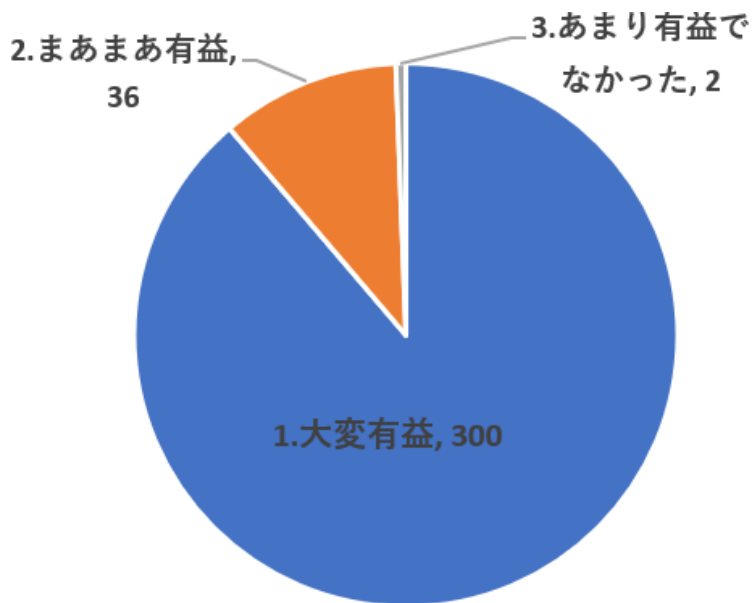
キャリアコンサルティング実施後アンケートまとめ

キャリアコンサルティング実施後アンケート

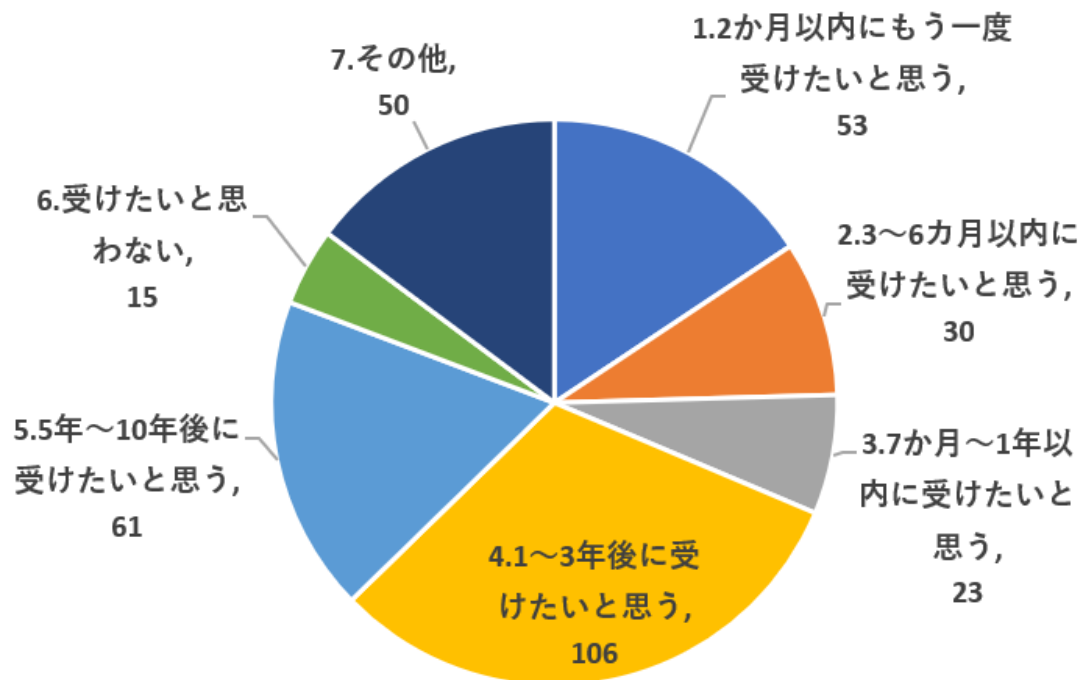
【実施期間】2025/4/1～2026/1/31

【対象者】338名

【満足度】



【もう一度受けてみたいか】



ジョブ・カードの周知・広報業務(セミナー実施)

下記ハローワークにおいて、ジョブ・カードに関する説明を実施や、ジョブ・カードの書き方を一部体験いただくようなジョブ・カード作成支援セミナーを実施し、ジョブ・カードおよびキャリアコンサルティングへのご案内について説明しております。

	盛岡 紺屋町	盛岡 菜園	宮古	釜石	大船 渡	久慈	一関	水沢	遠野	花巻	北上	二戸	沼宮内	オンライン セミナー	計
4月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	—	10	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
6月	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
7月	—	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	18
8月	—	12	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
9月	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
10月	—	11	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	17
11月	—	12	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
12月	—	12	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
1月	—	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
計	—	93	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	115

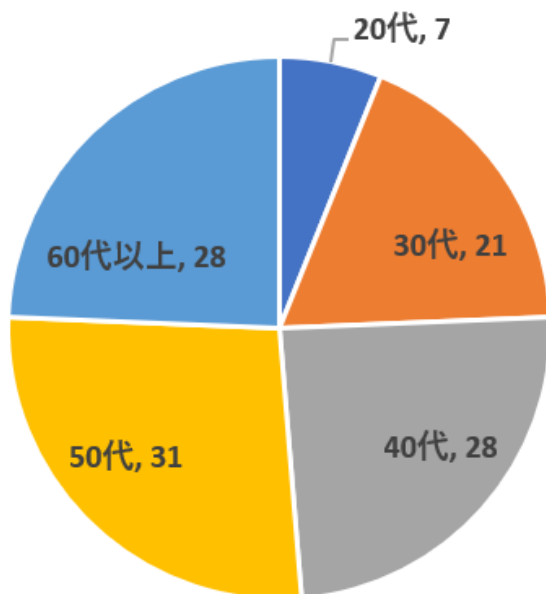
ジョブ・カード作成支援セミナー実施後アンケートまとめ

ジョブ・カード作成支援セミナー実施後アンケート

【実施期間】2025/4/1～2026/1/31

【対象者】115名

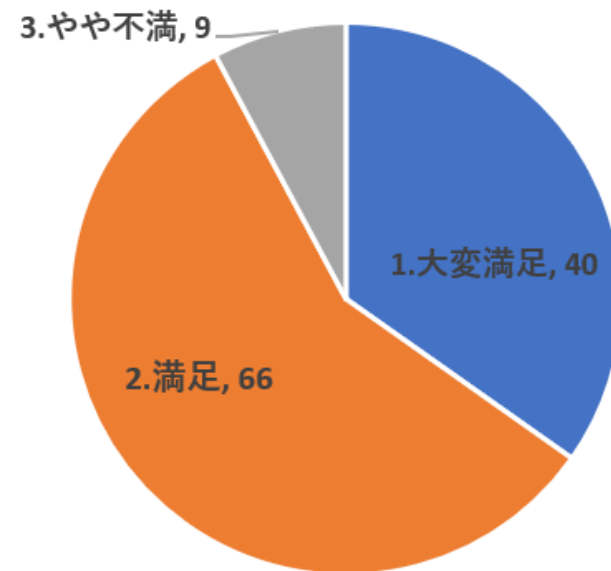
【年代】



【就業状況】



【満足度】



中高年層の経験交流・キャリアプラン塾について



【令和7年から事業内容拡充】

※厚生労働省予算概案より抜粋

全ての年代の人々がその特性・強みを生かし活躍できる環境の整備が求められる中、中高年齢層においてはセカンドキャリアを見据えたキャリアプランの策定やモチベーションの維持に課題を抱える者も多く見られることから、当該年齢層を対象としたキャリア形成支援の強化を図る。

春講座

参加者：3名

対面

夏講座

参加者：3名

対面

秋講座

参加者：8名

対面

冬講座

県内からの参加者：5名

オンライン

各日程詳細

テーマ	概要
第1回 キャリアの振り返り	<p>ライフラインチャートでこれまでの振り返る ～ジョブ・カードを作成する～</p> <p>人生100年時代における自分の現在地を知り、ワークを通してこれまでのキャリアを振り返り、棚卸しを行います。ご自身の「価値観」「興味・関心」「強み」の再確認を行いながら、グループディスカッションを通してご自身にとっての今後の充実した人生とは？を考えます。</p>
第2回 リスクリングの方向性検討	<p>Will・Can・Mustの明確化 ～中長期的なキャリアビジョンを描く～</p> <p>キャリアを考える上で重要な3つの要素である「Will（やりたいこと）」「Can（できること）」「Must（やるべきこと）」を、ワークやディスカッションを通して明確化し、仕事に対するモチベーションを再確認します。その上でご自身のなりたい姿に向けて必要なリスクリングの方向性を検討します。</p>
<p>キャリアコンサルティング（1回目） ～第1回・第2回の講座の気づきをより深める～</p>	
第3回 マネープランについて学ぶ	<p>キャリアとマネーは両輪 ～年金と保険の理解と実践的なマネープランの作成～</p> <p>人生100年時代において誰もが抱える不安のひとつ、将来に向けたお金についての課題を抽出・可視化するための「マネープラン」の作成について学びます。「マネープラン」を検討するためのツール（シミュレーションシート）の作成方法を学び、プランの見直しのポイントなどをディスカッションを通して考えます。</p>
第4回 多様なキャリアデザイン	<p>多様なキャリアの選択肢を探る ～中長期的なキャリアプランニング～</p> <p>定年後・雇用延長後のキャリアは多様化しており、副業、兼業、サードプレイス、UIターン、介護と仕事との両立など、多様なキャリアデザインの選択肢があります。ワークとディスカッションを通して自分らしい働き方について考え、今後のキャリアプランニングを仲間と一緒に探求していきます。</p>
<p>キャリアコンサルティング（2回目） ～第3回・第4回の講座で考えたプランをより深め、今後の取り組みを話</p>	

令和7年度キャリア形成・リスクリング推進事業

支援センターにおける課題と重点取組事項

① キャリアコンサルティングの認知度向上→実施数の増加

職業訓練を受けるためだけのキャリアコンサルティングではなく、求職者はもちろんのこと、在職者も働きながらも今後のキャリアについてや、キャリアアップ・能力開発に向けて気軽に、いつでも相談できる場所として、相談コーナーの認知度向上

② 企業・学校へのキャリアコンサルティング・セミナー実施強化→支援数の増加

● 人材育成に積極的な企業へのアプローチ（継続）

（採用難、若手の離職や定着や、管理職の育成などに悩みをもつ企業に対し、経済団体様などと連携し企業開拓、周知活動の強化）

● 就職指導に課題を感じている学校へのアプローチ（継続）

（売り手市場のため就職率は高いが、早期離職してしまう、自己理解不足等の課題感あり）

③ 中高年のセカンドキャリアに向けた支援→キャリアプラン塾の申込者増加

就業状況に関わらず、中高年層が長く活躍できるよう、セカンドキャリアやマネープランについての知識のインプットや、自分自身のこれまでを振り返りと参加者同士の経験交流を通じて、豊かな未来を描ききっかけづくりとする。

令和7年度 生産性向上支援訓練 参考資料

1. 生産性向上支援訓練 実施状況
2. 生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース、DX対応コース、サブスクリプション型） 実施状況
3. 生産性向上支援訓練 受講者の傾向、事業主アンケート、受講者アンケート意見表
4. 生産性向上支援訓練の課題と対応方針

令和8年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部
岩手職業能力開発促進センター 生産性向上人材育成支援センター

生産性向上支援訓練の実施状況

令和7年12月末現在

事業主評価（訓練全体）：92.2%（目標：85%以上）
 受講者満足度（訓練全体）：99.2%（目標：90%以上）

受講者数：432人（目標：470人）
 達成率：91.9%

生産性向上支援訓練

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オープン方式	20コース	生産性分析と向上（1） 生産現場の問題解決（1） 生産計画と工程管理（1） 品質管理実践（1） 企業価値を上げるための財務管理（1） 業務効率向上のための時間管理（1） 成果を上げる業務改善（1） 職場のリーダーに求められる統率力の向上（6） 管理者のための問題解決力向上（1） 継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割（1） 表計算ソフトを活用した業務改善（1） 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（1） 相手に伝わるプレゼン資料作成（1） 集客につなげるホームページ作成（2）	200名	151名
オーダー方式	44コース	品質管理実践（1） 企業価値を上げるための財務管理（1） 現場社員のための組織行動力向上（6） 業務効率向上のための時間管理（2） 顧客満足度向上のための組織マネジメント（2） 企画力向上のための論理的思考法（1） 成果を上げる業務改善（16） 組織力強化のための管理（4） 職場のリーダーに求められる統率力の向上（5） 管理者のための問題解決力向上（1） 表計算ソフトを活用した業務改善（2） 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（2） 相手に伝わるプレゼン資料作成（1）	532名	281名
合計	64コース		732名	432名

※受講者満足度は令和7年12月末、事業主評価は令和7年9月末までに実施済みのもの

令和7年12月末現在

生産性向上支援訓練の実施状況

受講者数：55人（目標：40人）
達成率：137.5%

生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オープン方式	6コース	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成（1） 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割（3） 中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法（1） 作業手順の作成によるノウハウの継承（1）	60名	33名
オーダー方式	2コース	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割（1） 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割（1）	20名	22名
合計	8コース		80名	55名

受講者数：176人（目標：180人）
達成率：97.8%

生産性向上支援訓練（DX対応コース）

実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
オープン方式	28コース	製造分野におけるDX推進（1） 在庫管理システムの導入（1） 経理業務の効率化につながるDXの実践（1） ITツールを活用した業務改善（1） データ活用で進める業務連携（1） DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入（2） AI（人工知能）活用（2） RPAを活用した業務効率化・コスト削減（1） RPA活用（1） データサイエンス入門（2） 効率よく分析するためのデータ集計（4） ピボットテーブルを活用したデータ分析（3） 表計算ソフトを活用した統計データ解析（1） 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（4） SNSを活用した情報発信（3）	280名	160名
オーダー方式	2コース	効率よく分析するためのデータ集計（2）	30名	16名
合計	30コース		310名	176名

生産性向上支援訓練の実施状況

令和7年12月末現在

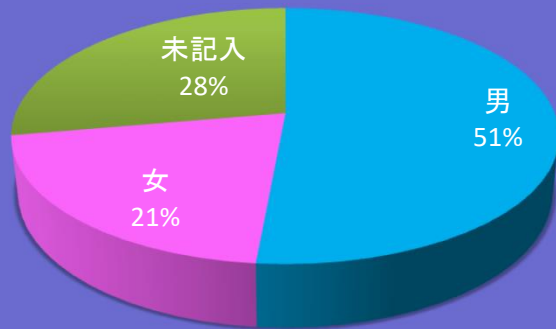
受講者数：12人（目標：20人）
達成率：60.0%

生産性向上支援訓練（サブスクリプション型）

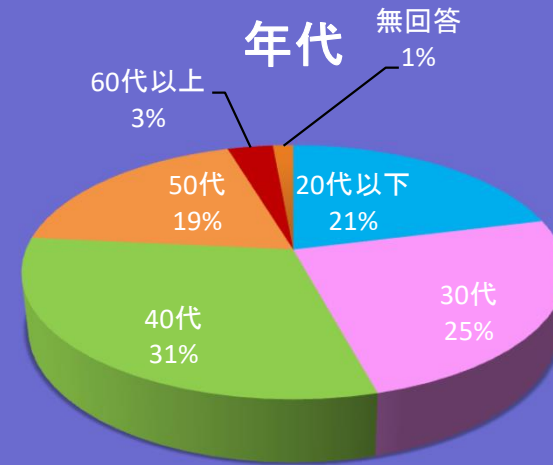
実施方式	設定コース数	コース名（設定数）	定員	受講者数
サブスクリプション	12コース	サブスクリプション型生産性向上支援訓練（生産性向上コース）（4） （・業務効率向上のための時間管理 ・成果を上げる業務改善 ・職場のリーダーに求められる統率力の向上）	11名	6名
		サブスクリプション型生産性向上支援訓練（DX対応コース）（8） （・ITツールを活用した業務改善 ・AI（人工知能）活用 ・効率よく分析するためのデータ集計）	13名	6名
合計	12コース		24名	12名

生産性向上支援訓練の受講者の傾向

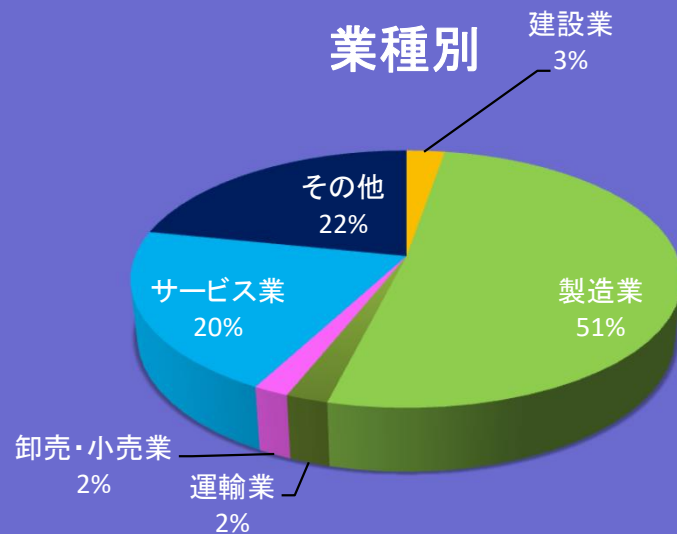
性別



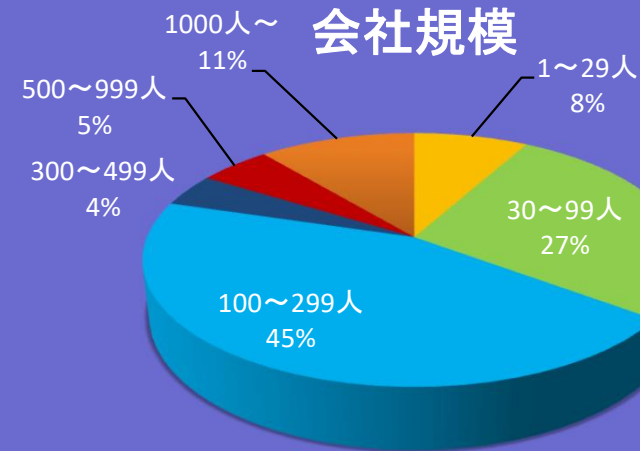
年代



業種別



会社規模



生産性向上支援訓練事業主アンケート意見表

令和7年度第2四半期まで

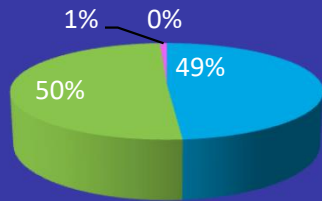
生産性向上等につながった旨の評価(自由記述・要旨)
・データ集計方法の幅が広がり、色々な視点からデータを分析出来る様になった。
・業務の効率化を主体的に取り組む意識が向上した。
・当社での現状について検討する機会や方策についての意見を発信する事が出来る様になった。
・リーダー的な立場としての意識改善につながった。
・モチベーションの維持、向上、協調性の醸成につながった。
・社員1人ひとりが問題意識を持ち積極的に行動するようになった。普段思っていた事を行動に移す(課題解決)力が高まった。
・コミュニケーションの重要性を再確認しながら、自分の立ち位置でやるべき行動の気付き、学び、確認ができた。
・AIツールを利用することで、業務効率改善につながった。
・意識改革や役割確認について、改めて働き方や仕事に対する意識を見直すきっかけになった。
・講習の内容が課題解決のヒントにつながった。
・伝達・指導能力が向上することにより、若手社員の知識習得につながり、作業効率が良くなることや離職防止になる。

○有効回答事業主数:102事業主

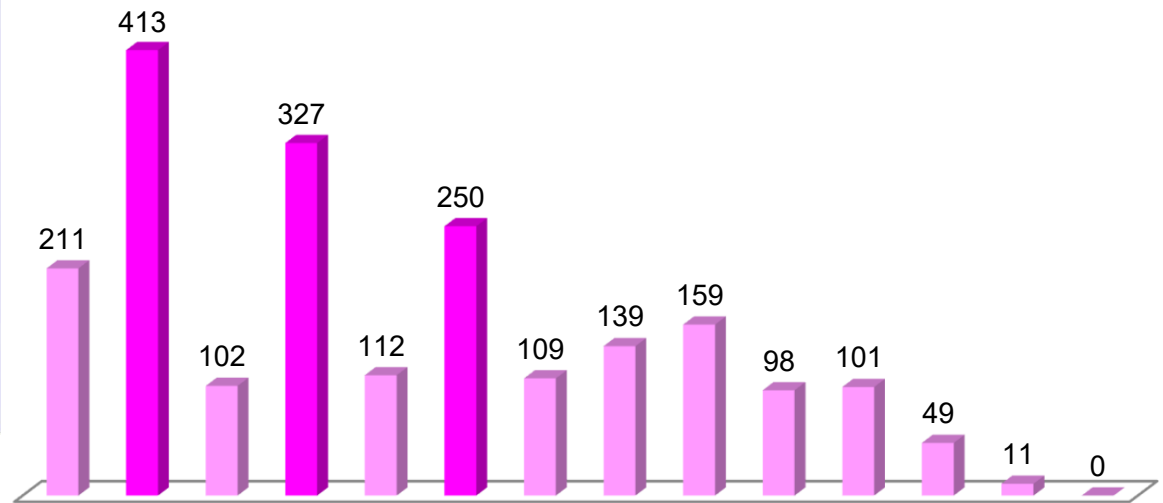
生産性向上支援訓練 受講者アンケート結果

役立ち度

- ①大変役に立った又はその期待が大いに持てる
- ②役に立った又はその期待が持てる
- ③役に立たなかった又はその期待が持てない
- ④全く役に立たなかった又はその期待が全く持てない



役立つ理由



- ① 生産性の向上に役立てることができる
- ② 業務に役立てることができる
- ③ 新たな業務及び業務の拡大に役立てることができる
- ④ 課題の解決につなげることができる
- ⑤ 専門的な知識・技能を習得することができる
- ⑥ 新たな知識・技能を習得することができた
- ⑦ これまでの仕事を論理的に整理することができた
- ⑧ 自身の経験・知識を整理することができた
- ⑨ 同僚や部下に伝達・指導することができた
- ⑩ 仕事への意欲が向上した
- ⑪ 他の受講生から刺激を受けた
- ⑫ 業務IT化を推進する知識が理解できた
- ⑬ その他
- ⑭ 無回答

生産性向上支援訓練の課題と対応方針

令和7年度の主な取組み

- 1 職業訓練指導員等との計画的な事業所訪問による個別企業の課題の聞き取りと生産性向上支援訓練等の紹介
- 2 ホームページへ訓練コース情報及び個別リーフレットを掲載
- 3 毎月約840社へのダイレクトメールによる周知
- 4 高齢・障害者業務課との連携（障害者を対象とした合同企業説明会に参加する企業人事担当者へ広報を実施、等）
- 5 前年度以前に受講実績のある事業所に対し、受講した同分野の訓練コースを中心とした受講勧奨を実施（リピーターの確保）

計画目標値

1. 生産性向上支援訓練

令和7年度	470人	⇒	受講者数（見込含む）	679人
令和8年度	470人			

2. 生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）

令和7年度	40人	⇒	受講者数（見込含む）	58人
令和8年度	40人			

3. 生産性向上支援訓練（DX対応コース）

令和7年度	180人	⇒	受講者数（見込含む）	217人
令和8年度	180人			

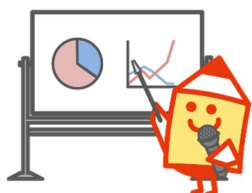
課題と方針

令和8年度の計画目標値は令和7年度と同数となったが、企業訪問等による一層の制度周知等を含めた広報の強化を図り、目標の達成に向けて取り組んでまいりたい。

職業訓練ニーズについて (令和7年度実施分)

岩手県地域職業能力開発促進協議会

岩手労働局職業安定部訓練課



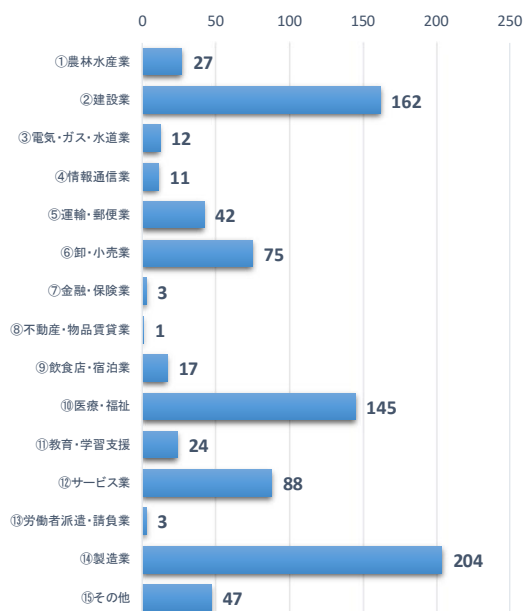
令和7年度『職業訓練に関するアンケート調査（企業）』集計表

令和8年2月5日現在

岩手労働局

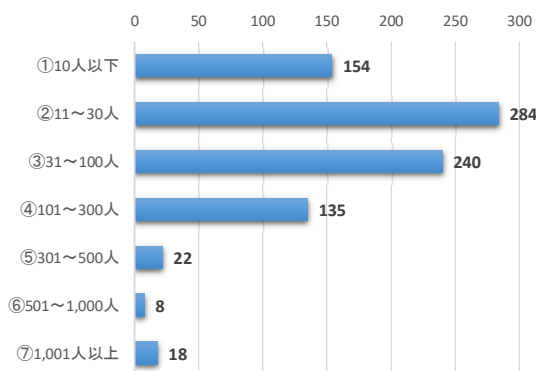
問2. 業種について、該当する業種を選択してください

産業分類別回答事業所数	(単位：社)	
	回答数	構成比
①農林水産業	27	3.1%
②建設業	162	18.8%
③電気・ガス・水道業	12	1.4%
④情報通信業	11	1.3%
⑤運輸・郵便業	42	4.9%
⑥卸・小売業	75	8.7%
⑦金融・保険業	3	0.3%
⑧不動産・物品賃貸業	1	0.1%
⑨飲食店・宿泊業	17	2.0%
⑩医療・福祉	145	16.8%
⑪教育・学習支援	24	2.8%
⑫サービス業	88	10.2%
⑬労働者派遣・請負業	3	0.3%
⑭製造業	204	23.7%
⑮その他	47	5.5%
無回答	0	0.0%
合計	861	100.0%



問3 従業員数について、該当する人数をお選びください

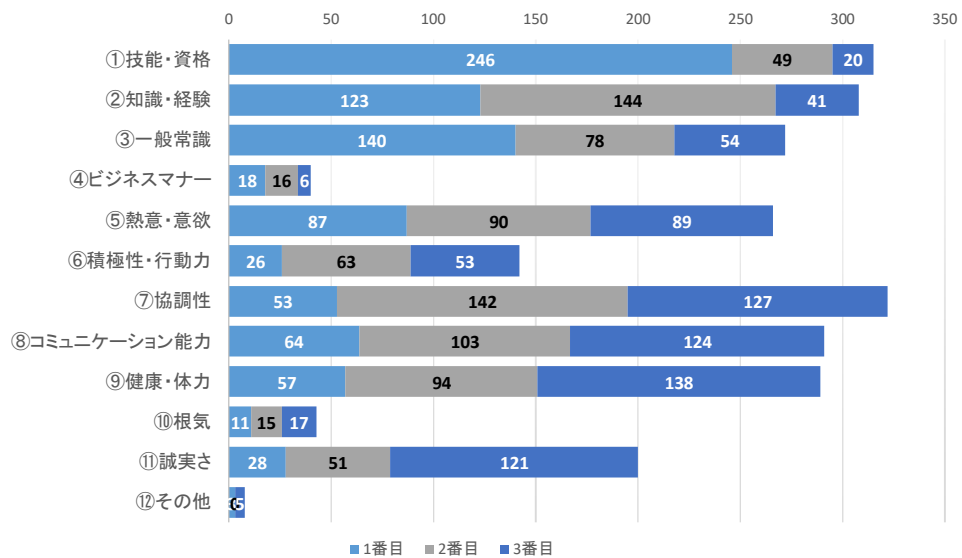
従業員数	(単位：社)	
	回答数	構成比
①10人以下	154	17.9%
②11～30人	284	33.0%
③31～100人	240	27.9%
④101～300人	135	15.7%
⑤301～500人	22	2.6%
⑥501～1,000人	8	0.9%
⑦1,001人以上	18	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	861	100.0%



問4.採用時に重視する点について、採用時に重視する点を3つまでお選びください

(単位：社)

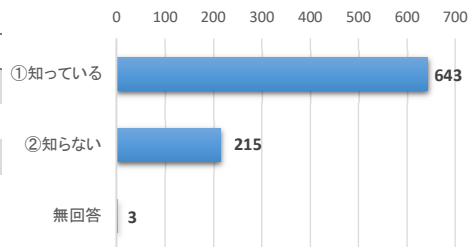
	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①技能・資格	246	49	20	315	28.6%	5.7%	2.3%	12.2%
②知識・経験	123	144	41	308	14.3%	16.7%	4.8%	11.9%
③一般常識	140	78	54	272	16.3%	9.1%	6.3%	10.5%
④ビジネスマナー	18	16	6	40	2.1%	1.9%	0.7%	1.5%
⑤熱意・意欲	87	90	89	266	10.1%	10.5%	10.3%	10.3%
⑥積極性・行動力	26	63	53	142	3.0%	7.3%	6.2%	5.5%
⑦協調性	53	142	127	322	6.2%	16.5%	14.8%	12.5%
⑧コミュニケーション能力	64	103	124	291	7.4%	12.0%	14.4%	11.3%
⑨健康・体力	57	94	138	289	6.6%	10.9%	16.0%	11.2%
⑩根気	11	15	17	43	1.3%	1.7%	2.0%	1.7%
⑪誠実さ	28	51	121	200	3.3%	5.9%	14.1%	7.7%
⑫その他	3	0	5	8	0.3%	0.0%	0.6%	0.3%
無回答	5	16	66	87	0.6%	1.9%	7.7%	3.4%
合計	861	861	861	2,583	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問5.公共職業訓練について、公的職業訓練を知っていましたか

(単位：社)

	回答数	構成比
①知っている	643	74.7%
②知らない	215	25.0%
無回答	3	0.3%
合計	861	100.0%

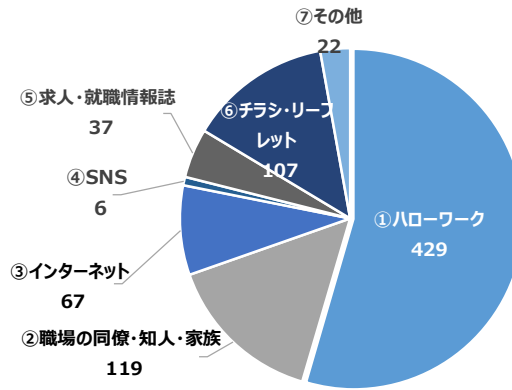


問 6. どのような方法・経路で職業訓練を知りましたか（複数回答）

問 5 で「知っている」を選択した企業のみ回答

(単位：社)

	回答数	構成比
①ハローワーク	429	54.3%
②職場の同僚・知人・家族	119	15.1%
③インターネット	67	8.5%
④SNS	6	0.8%
⑤求人・就職情報誌	37	4.7%
⑥チラシ・リーフレット	107	13.5%
⑦その他	22	2.8%
無回答	3	0.4%
合計	790	100.0%

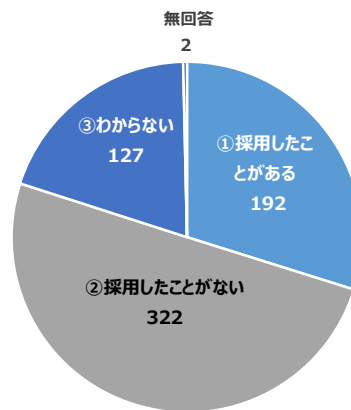


問 7. 職業訓練の受講者を採用したことがありますか

問 5 で「知っている」を選択した企業のみ回答

(単位：社)

	回答数	構成比
①採用したことがある	192	29.9%
②採用したことがない	322	50.1%
③わからない	127	19.8%
無回答	2	0.3%
合計	643	100.0%

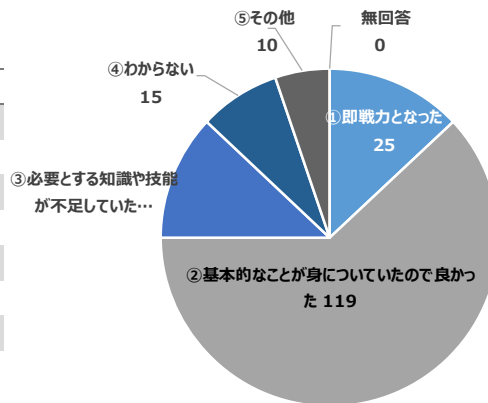


問 8. 職業訓練の受講者を採用した結果はいかがでしたか

問 7 で「採用したことがある」を選択した企業のみ回答

(単位：社)

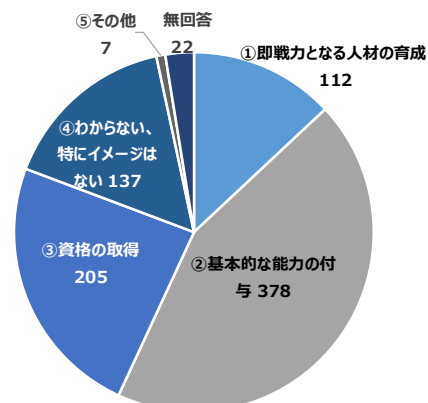
	回答数	構成比
①即戦力となった	25	13.0%
②基本的なことが身についたので良かった	119	62.0%
③必要とする知識や技能が不足していた	23	12.0%
④わからない	15	7.8%
⑤その他	10	5.2%
無回答	0	0.0%
合計	192	100.0%



問 9. 公的職業訓練のイメージについてどのようなイメージをお持ちですか

(単位：社)

	回答数	構成比
①即戦力となる人材の育成	112	13.0%
②基本的な能力の付与	378	43.9%
③資格の取得	205	23.8%
④わからない、特にイメージはない	137	15.9%
⑤その他	7	0.8%
無回答	22	2.6%
合計	861	100.0%

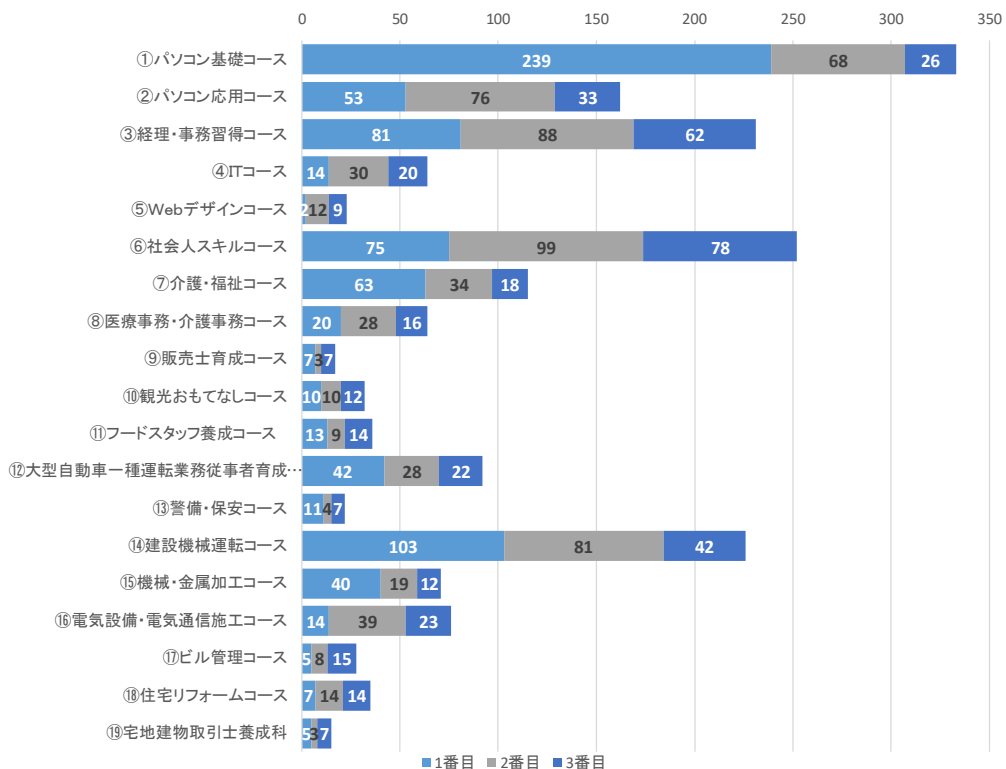


問10.公的職業訓練の設定コースについて

御社において役に立つと思う職業訓練コースを3つまで選択してください

(単位：社)

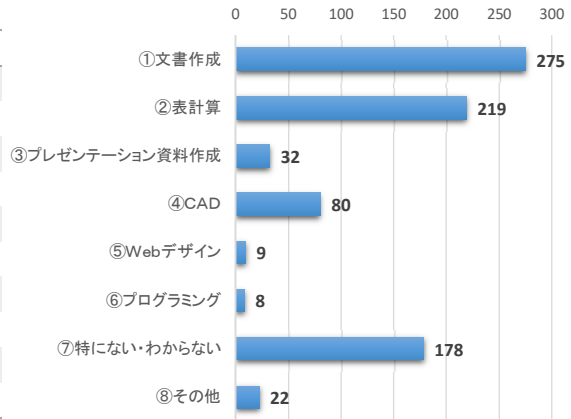
	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①パソコン基礎コース	239	68	26	333	27.8%	7.9%	3.0%	12.9%
②パソコン応用コース	53	76	33	162	6.2%	8.8%	3.8%	6.3%
③経理・事務習得コース	81	88	62	231	9.4%	10.2%	7.2%	8.9%
④ITコース	14	30	20	64	1.6%	3.5%	2.3%	2.5%
⑤Webデザインコース	2	12	9	23	0.2%	1.4%	1.0%	0.9%
⑥社会人スキルコース	75	99	78	252	8.7%	11.5%	9.1%	9.8%
⑦介護・福祉コース	63	34	18	115	7.3%	3.9%	2.1%	4.5%
⑧医療事務・介護事務コース	20	28	16	64	2.3%	3.3%	1.9%	2.5%
⑨販売士育成コース	7	3	7	17	0.8%	0.3%	0.8%	0.7%
⑩観光おもてなしコース	10	10	12	32	1.2%	1.2%	1.4%	1.2%
⑪フードスタッフ養成コース	13	9	14	36	1.5%	1.0%	1.6%	1.4%
⑫大型自動車一種運転業務従事者育成コース	42	28	22	92	4.9%	3.3%	2.6%	3.6%
⑬警備・保安コース	11	4	7	22	1.3%	0.5%	0.8%	0.9%
⑭建設機械運転コース	103	81	42	226	12.0%	9.4%	4.9%	8.7%
⑮機械・金属加工コース	40	19	12	71	4.6%	2.2%	1.4%	2.7%
⑯電気設備・電気通信施工コース	14	39	23	76	1.6%	4.5%	2.7%	2.9%
⑰ビル管理コース	5	8	15	28	0.6%	0.9%	1.7%	1.1%
⑱住宅リフォームコース	7	14	14	35	0.8%	1.6%	1.6%	1.4%
⑲宅地建物取引士養成科	5	3	7	15	0.6%	0.3%	0.8%	0.6%
無回答	57	208	424	689	6.6%	24.2%	49.2%	26.7%
合計	861	861	861	2,583	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問11. パソコン技能について、就職するまでに習得してほしいと思うパソコン技能を選択してください。

(単位：社)

	回答数	構成比
①文書作成	275	31.9%
②表計算	219	25.4%
③プレゼンテーション資料作成	32	3.7%
④CAD	80	9.3%
⑤Webデザイン	9	1.0%
⑥プログラミング	8	0.9%
⑦特にない・わからない	178	20.7%
⑧その他	22	2.6%
無回答	38	4.4%
合計	861	100.0%



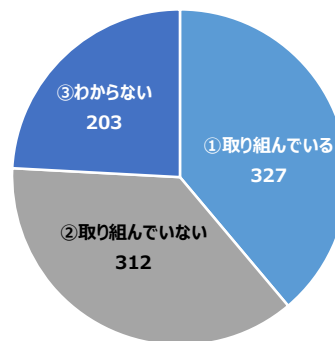
問12. 御社で人材を採用する場合、選考する上で強みとなる免許・資格があればご記入ください。

強みとなる免許・資格			
介護福祉士	47(社)	大型自動車免許	43(社)
フォークリフト	40(社)	土木施工管理技士	36(社)
普通自動車免許	27(社)	車両系建設機械	24(社)
看護師	23(社)	簿記・日商簿記	21(社)
玉掛け	21(社)	施工管理技士	19(社)
介護職員初任者研修	17(社)	電気工事士	17(社)
建設機械運転免許	16(社)	自動車整備士	16(社)
自動車免許	13(社)	保育士	16(社)
医療事務	10(社)	社会福祉士	11(社)
調理師	10(社)		

問13. 御社において、DX化に取り組んでいますか

(単位：社)

	回答	構成比
①取り組んでいる	327	38.0%
②取り組んでいない	312	36.2%
③わからない	203	23.6%
無回答	19	2.2%
合計	861	100.0%



問14. 今後、DX化を進める場合、必要とする人材や能力・資格があれば、ご記入ください

DX化を進めるにあたり、必要となる人材や能力・資格（上位5位赤字）			
P C操作能力	38(社)	I T関連の資格/知識がある人	17(社)
情報技術者資格	4(社)	デジタル機器の扱いに長けている人	3(社)
プログラミング	3(社)	適応能力	2(社)
Big Dataを活用しマーケティングやリソースの確保などを実行するスキル	1(社)	コンピューターに関する知識、ネットワークなどDX全般わか	1(社)
ChatGPTやGemini、NotebookLMなどのAIを有効に活用できる能力があると良いと思います。	1(社)	コンピューターのネットワーク構築等ハードを管理する能力	1(社)
DX化に関する予備知識、又は資格。製造現場の知見、コミュニケーション能力など。	1(社)	システム会社との橋渡しをし、院内の説明役もできる人材	1(社)
DXを理解している人	1(社)	デジタルトランスフォーメーション認定資格という資格があるようですが、このような、資格取得者が求められるのではないのでしょうか。	1(社)
DX化に関する意欲のある人材（知識・経験がなくても学ぼうとする意識がある）	1(社)	ネットワークやデータベースの基礎的な知識があり、現場とのコミュニケーションを図ることができる人。ITパスポート以上の資格所有者。	1(社)
DXスキルと柔軟性	1(社)	課題解決能力、提案能力、提案時に必要となる各種IT系スキル	1(社)
Dx基礎能力試験	1(社)	介護業務に対してDXがどれほど効果をもたらすか不明です。	1(社)
DX推進の経験者	1(社)	業界的にまだそのタイミングではないかもしれませんが	1(社)
ICTやDXに強い人材、建設ディレクター等	1(社)	業務の効率化・コストの削減	1(社)
RPAを理解している人材	1(社)	経営管理、経営企画の知見がある人材、ITの技術者、デジタルスキルの高い人材	1(社)
高卒であれば基本知識を所有しており、特に必要性は低いが、これに係る有資格者であれば尚可。	1(社)	現場業務と制度の詳細な理解、現場業務と制度を俯瞰的に整理する力、業務全体を再構築する業務設計力・改善力、職員の理解度に合わせて導入を進める調整力・説明力、特定の資格よりも現場理解と実務経験が重要。できることは既にこの現場でも進んでいるのに、するための予算もなければ時間も無い。理想。	1(社)
インターネットやサーバー、表計算、AIなどの知識	1(社)	WEBを利用したHPの活用	1(社)
ウェブ系の知識	1(社)	最新の技術・知識、マネジメント能力	1(社)
少人数の会社の場合、だれが責任者になるのが問題。人がいないDX専門で雇うわけにもいかない。	1(社)	自分で調べたいテーマ等を自らパソコンで調べることができる。ワープロ入力もブラインドタッチで出来る。	1(社)
新しいことに向かって素直に取り組める柔軟性を持った人材。能力や資格は追って身に着ければ良いと思う、そこに取り組める姿勢がある人材	1(社)	知識・経験ともに豊富な人材	1(社)
専門職ではないが、情報システム関係に対応できる人	1(社)	熱意・意欲・根気・発想力・協調性など内面性を重視します。	1(社)
診療所ですが、医療DXを進める以前に、社会適応能力のある医療事務員が不足しています。	1(社)	年齢の高い方ほど身につくまで時間がかかっており、個別で対応しなければいけないことも多く担当者が時間がさかれていますので、使用方法等を詳しく説明できる人材がいると助かると感じている。	1(社)
資格・能力は特に問いません	1(社)	発想力がある方	1(社)
既に詳しい者が在籍しているため不要。	1(社)	必要な資格等はわからないが、人材が不足しているのは確かです	1(社)
専門の職員が担当するので、必要ありません。	1(社)	不具合に対応できるスキル	1(社)
当社業種面で特に必要を感じない。	1(社)	弊社には必要性は見込めない	1(社)
専門部署対応のため把握しておりません。	1(社)	弊社は昔ながらの紙を好む社風から脱却できていない	1(社)
中小企業診断士（業務改善に強い）	1(社)	変革を否定せず、提案力のある人材。自ら動き他を巻き込む能力。	1(社)
CAD	1(社)	補助金申請作業を億劫がらない精神	1(社)
ドローン	1(社)	建設ディレクタ	1(社)
簿記2級	1(社)	広報業務ができる方	1(社)
事務員	1(社)	調理師、介護福祉士、看護師	1(社)
医療クラーク	1(社)	土木CAD技術を生かした土木設計業務	1(社)
デザイナー、ソフトウェアエンジニア、サイバーセキュリティ 等	1(社)	DX化とは何か理解できていない。初めて聞く言葉です。	1(社)
わからない	8(社)		

令和7年度『職業訓練に関するアンケート調査（求職者）』集計表

令和8年2月5日現在

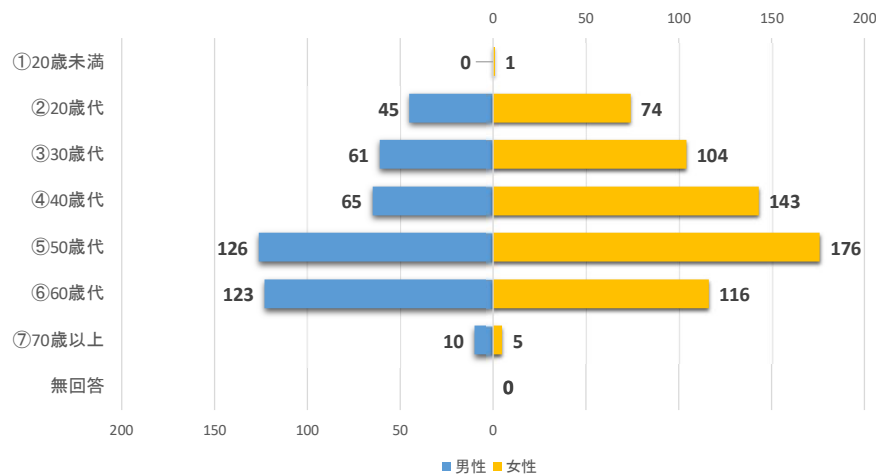
岩手労働局

問2および問3. 性別と年齢について

○求職者の性別と年齢

(単位：人)

	回答数				構成比			
	男性	女性	無回答	計	男性	女性	無回答	計
①20歳未満	0	1	0	1	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
②20歳代	45	74	5	124	10.5%	12.0%	35.7%	11.7%
③30歳代	61	104	3	168	14.2%	16.8%	21.4%	15.8%
④40歳代	65	143	2	210	15.1%	23.1%	14.3%	19.8%
⑤50歳代	126	176	1	303	29.3%	28.4%	7.1%	28.5%
⑥60歳代	123	116	3	242	28.6%	18.7%	21.4%	22.8%
⑦70歳以上	10	5	0	15	2.3%	0.8%	0.0%	1.4%
無回答	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	430	619	14	1,063	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

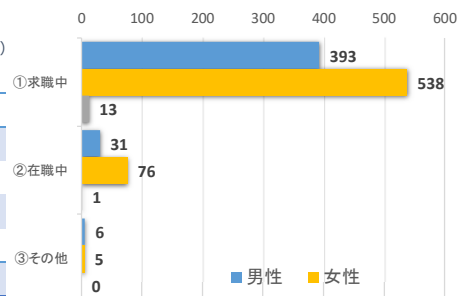


問4.就業状態

○就業状態

(単位：人)

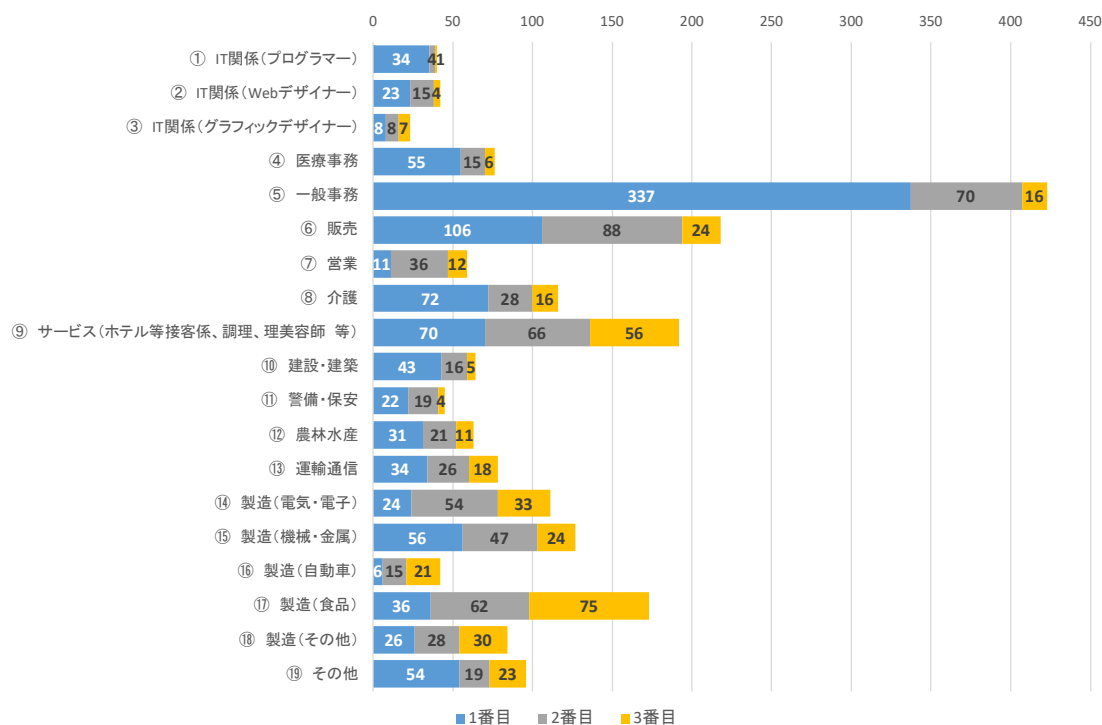
	回答		
	男性	女性	無回答
①求職中	393	538	13
②在職中	31	76	1
③その他	6	5	0
無回答	0	0	0
合計	430	619	14



問5. 希望する職種について最大3つ選択してください

(単位：人)

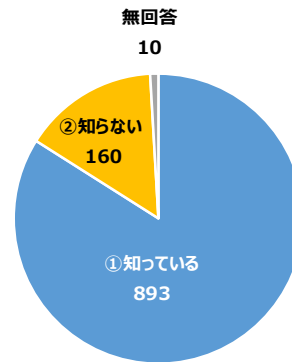
	回答数				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
① IT関係(プログラマー)	34	4	1	39	3.2%	0.4%	0.1%	1.2%
② IT関係(Webデザイナー)	23	15	4	42	2.2%	1.4%	0.4%	1.3%
③ IT関係(グラフィックデザイナー)	8	8	7	23	0.8%	0.8%	0.7%	0.7%
④ 医療事務	55	15	6	76	5.2%	1.4%	0.6%	2.4%
⑤ 一般事務	337	70	16	423	31.7%	6.6%	1.5%	13.3%
⑥ 販売	106	88	24	218	10.0%	8.3%	2.3%	6.8%
⑦ 営業	11	36	12	59	1.0%	3.4%	1.1%	1.9%
⑧ 介護	72	28	16	116	6.8%	2.6%	1.5%	3.6%
⑨ サービス(ホテル等接客係、調理、理美容師)	70	66	56	192	6.6%	6.2%	5.3%	6.0%
⑩ 建設・建築	43	16	5	64	4.0%	1.5%	0.5%	2.0%
⑪ 警備・保安	22	19	4	45	2.1%	1.8%	0.4%	1.4%
⑫ 農林水産	31	21	11	63	2.9%	2.0%	1.0%	2.0%
⑬ 運輸通信	34	26	18	78	3.2%	2.4%	1.7%	2.4%
⑭ 製造(電気・電子)	24	54	33	111	2.3%	5.1%	3.1%	3.5%
⑮ 製造(機械・金属)	56	47	24	127	5.3%	4.4%	2.3%	4.0%
⑯ 製造(自動車)	6	15	21	42	0.6%	1.4%	2.0%	1.3%
⑰ 製造(食品)	36	62	75	173	3.4%	5.8%	7.1%	5.4%
⑱ 製造(その他)	26	28	30	84	2.4%	2.6%	2.8%	2.6%
⑲ その他	54	19	23	96	5.1%	1.8%	2.2%	3.0%
無回答	15	426	677	1118	1.4%	40.1%	63.7%	35.1%
合計	1063	1063	1063	3189	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



⑲その他の職業 (上位5位の職種)		
清掃	12(人)	保育・保育関係 10(人)
看護	5(人)	福祉 4(人)
教育	3(人)	医療 3(人)
検討中	3(人)	

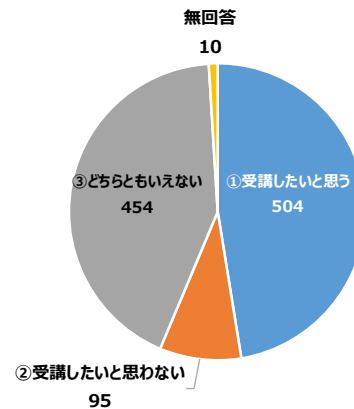
問 6. 公的職業訓練について知っていますか

	(単位：人)	
	回答	構成比
①知っている	893	84.0%
②知らない	160	15.1%
無回答	10	0.9%
合計	1063	100.0%



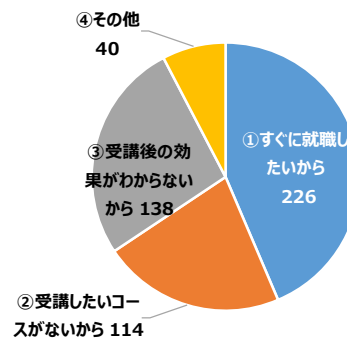
問 7. 今後、機会があれば公的職業訓練を受講したいと思いますか

	(単位：人)	
	回答	構成比
①受講したいと思う	504	47.4%
②受講したいと思わない	95	8.9%
③どちらともいえない	454	42.7%
無回答	10	0.9%
合計	1063	100.0%



問 8. 問 7 において「受講したいと思わない」または「どちらともいえない」を選択した理由があれば教えてください

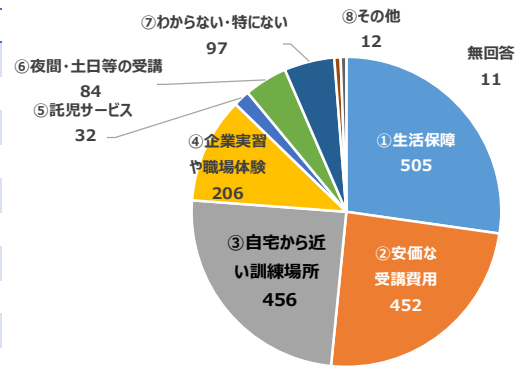
	(単位：人)	
	回答	構成比
①すぐに就職したいから	226	41.2%
②受講したいコースがないから	114	20.8%
③受講後の効果がわからないから	138	25.1%
④その他	40	7.3%
無回答	31	5.6%
合計	549	100.0%



④その他の理由			
年齢的な問題	7(人)	在学・在職中のため	5(人)
訓練校への通学が不便なため	4(人)	以前に受講した事があるから	3(人)

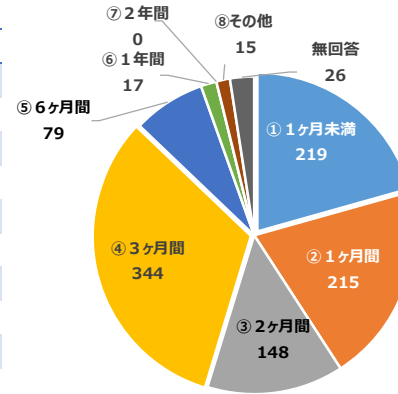
問 9. 職業訓練を受講する場合、どのような条件・環境が備わっていれば良いと思いますか（複数回答）

	(単位：人)	
	回答	構成比
①生活保障	505	27.2%
②安価な受講費用	452	24.4%
③自宅から近い訓練場所	456	24.6%
④企業実習や職場体験	206	11.1%
⑤託児サービス	32	1.7%
⑥夜間・土日等の受講	84	4.5%
⑦わからない・特にない	97	5.2%
⑧その他	12	0.6%
無回答	11	0.6%
合計	1855	100.0%



問 10. 公的職業訓練の受講期間はどの位が適切ですか

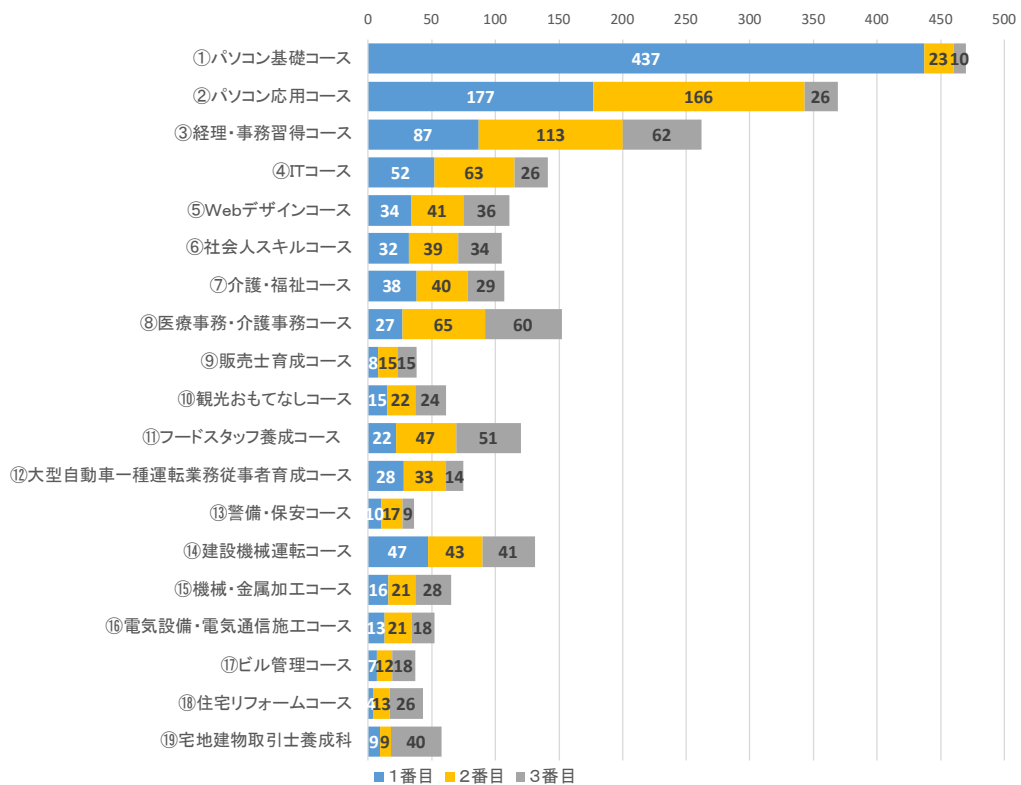
	(単位：人)	
	回答	構成比
①1ヶ月未満	219	20.6%
②1ヶ月間	215	20.2%
③2ヶ月間	148	13.9%
④3ヶ月間	344	32.4%
⑤6ヶ月間	79	7.4%
⑥1年間	17	1.6%
⑦2年間	0	0.0%
⑧その他	15	1.4%
無回答	26	2.4%
合計	1063	100.0%



問 1. 公的職業訓練の受講希望コースについて、受講してみたいと思うコースを3つまで選んでください

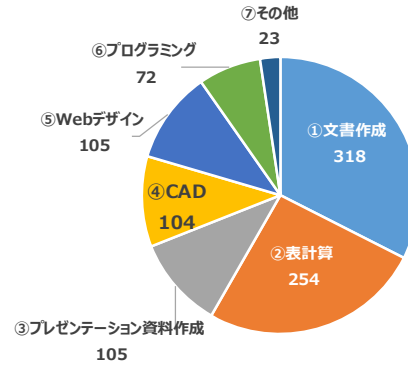
(単位：人)

	回答				構成比			
	1番目	2番目	3番目	計	1番目	2番目	3番目	計
①パソコン基礎コース	437	23	10	470	41.1%	2.2%	0.9%	14.7%
②パソコン応用コース	177	166	26	369	16.7%	15.6%	2.4%	11.6%
③経理・事務習得コース	87	113	62	262	8.2%	10.6%	5.8%	8.2%
④ITコース	52	63	26	141	4.9%	5.9%	2.4%	4.4%
⑤Webデザインコース	34	41	36	111	3.2%	3.9%	3.4%	3.5%
⑥社会人スキルコース	32	39	34	105	3.0%	3.7%	3.2%	3.3%
⑦介護・福祉コース	38	40	29	107	3.6%	3.8%	2.7%	3.4%
⑧医療事務・介護事務コース	27	65	60	152	2.5%	6.1%	5.6%	4.8%
⑨販売士育成コース	8	15	15	38	0.8%	1.4%	1.4%	1.2%
⑩観光おもてなしコース	15	22	24	61	1.4%	2.1%	2.3%	1.9%
⑪フードスタッフ養成コース	22	47	51	120	2.1%	4.4%	4.8%	3.8%
⑫大型自動車一種運転業務従事者育成コース	28	33	14	75	2.6%	3.1%	1.3%	2.4%
⑬警備・保安コース	10	17	9	36	0.9%	1.6%	0.8%	1.1%
⑭建設機械運転コース	47	43	41	131	4.4%	4.0%	3.9%	4.1%
⑮機械・金属加工コース	16	21	28	65	1.5%	2.0%	2.6%	2.0%
⑯電気設備・電気通信施工コース	13	21	18	52	1.2%	2.0%	1.7%	1.6%
⑰ビル管理コース	7	12	18	37	0.7%	1.1%	1.7%	1.2%
⑱住宅リフォームコース	4	13	26	43	0.4%	1.2%	2.4%	1.3%
⑲宅地建物取引士養成科	9	9	40	58	0.8%	0.8%	3.8%	1.8%
無回答	0	260	496	756	0.0%	24.5%	46.7%	23.7%
合計	1063	1063	1063	3189	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問1 2. パソコン技能について、就職するまでに習得したいと思うパソコン技能をご記入ください

	(単位：人)	
	回答	構成比
①文書作成	318	29.9%
②表計算	254	23.9%
③プレゼンテーション資料作成	105	9.9%
④CAD	104	9.8%
⑤Webデザイン	105	9.9%
⑥プログラミング	72	6.8%
⑦その他	23	2.2%
無回答	82	7.7%
合計	1063	100.0%



問1 3. 公的職業訓練について、ご意見・ご要望がございましたらご記入ください

意見・要望			
受講にて職種の見え方が広がった。	1(人)	受講施設が駅にもう少し近いと便利かと思われる。	1(人)
3年前に会社都合で退職後に3ヶ月間の職業訓練を受講し資格を取り、未経験でも派遣で一般事務の仕事に就くことが出来ました。3ヶ月間があったという間だったので、半年間から一年間位みっちり学びたかったなと思います。スキルアップに繋がるので、年齢関係なく沢山の方に受講していただきたいと思えます。	1(人)	就業の即戦力となる訓練を希望します。一度だけではなく、リスキリングできればありがたいです。	1(人)
AIの使い方を学びたいです。(チャットGPT)	1(人)	受講時間の調整が出できれば良いと思います	1(人)
とても親身に対応して頂き、ありがとうございます。	1(人)	就業中でも安価で受講できれば良いです。	1(人)
ネイリスト育成など美容に関係する資格がとれる講座があると若年層の受講希望も増えると思います。	1(人)	情報もあまり入ってこないのも、もっと目にする機会があると良い	1(人)
パソコン、スマホの使い方がわかる様な講習会があればすかかります。	1(人)	職場見学又は職場体験ができる機会があると嬉しい。	1(人)
もっと公的職業訓練の宣伝活動を強化して欲しいです。訓練する事で本人にとって、社会にとっても有益で良い事だと思います。	1(人)	人それぞれ習得したい分野があると思いますが、私は事務・簿記などの訓練に興味があります。	1(人)
より実務的な教育訓練を実施しており職種拡大する機会に有効と思えます	1(人)	生成AIなどを活用したビジネスコンテンツの講習があれば受けてみたい	1(人)
リモートワークできるようになるパソコンスキルを学べるところが、近くにあると良いと思えます	1(人)	多種多様な訓練を受講出来る事を望みます。	1(人)
安価で即戦力になる訓練を受けたい	1(人)	短期の訓練も必要だと思います。	1(人)
看護等の何か訓練があれば、人手不足である看護への興味を持つ方が増えるのかと思います	1(人)	短期集中で受講、学習できるコースがあったら良いと思います。2~3ヶ月じっくりですと、疲れてしまうと思います。	1(人)
管内に受けたいコースがない	1(人)	長時間の受講となると、今までパートの時間で働いていたので受講するのが難しい。短時間で受講できると良い。	1(人)
期間がもう少し短く近い場所にあったらいいなと思います。	1(人)	登録販売者や販売士など接客に関わるような資格の種類を増やしてほしい。建設業や土木関係 介護関係 パソコンスキルばかりで選べない	1(人)
期間が長いと飽きやすい性格の為短めが良いと思います？	1(人)	冬とか遠くまで運転するのが大変なので出来れば町内とかであれば参加しやすいと思います。	1(人)
求職中であっても、短期間や飛び込みでも学べる制度であつたら良いと思います。	1(人)	二種免許を取得できる訓練が欲しい	1(人)
訓練会場が自宅から近ければ受けたいコースがある。オンライン等もあると良い。	1(人)	年間などの長期的な訓練日程がネットなどで閲覧できると計画、メドが立てやすくなるのかと思う。	1(人)
高齢者向けのコースがあれば有難いです。	1(人)	年齢的にむずかしい事もあると思うが活用していきたい。	1(人)
時代が変わっても実務的なものがないと思っています。もっと女性が働くのに実務的な内容のコースを増やしてもらえれば良いと思います。	1(人)	物流知識が学べる訓練	1(人)
受けたい訓練が、自分の求職中と合わないもので、学習したい項目が、合致するように少人数でも、たくさんのコースを行っていただけたら、求職者側とすれば助かります。	1(人)	簿記2級までを学べる訓練校を増やしてほしいです	1(人)
受けられるコースが豊富でありがたいです。	1(人)	田舎で受講できるコースが少ないので、オンラインで受講できる講座があれば案内してほしい。	1(人)
受講したいコースが受講したい期間にないで困る	1(人)		